



“mirai”

これらの地域資源を活かし、安心して快適な活力あるまちづくりを進めるため、昨年の3月、今後10年間のまちづくりの基本となる「つくばみらい市総合計画」を、市民の皆さんの意見を伺いながら策定しました。

この計画は、市の目指すべき将来像、その実現に向けた諸施策の方向性を示すもので、市政の最も基本となる計画です。

計画では、環境と共生する循環型社会の形成を目指す「環境共生型まちづくり」、老若男女すべての市民が将来にわたって暮らしやすい地域社会づくりを目指す「安心して暮らせるまちづくり」、市民と行政の協働による地域社会の形成を目指す「地域の魅力をいかしたまちづくり」という3つの基本理念の基に、市の将来像を『活力に満ちた うるおいとやすらぎのまち』と定め、現在この計画に基づいたまちづくりを進めています。

荒井 確かに少し前では、考えられないくらいに開発が進んでいますね。

市長 総合計画では、みらい平駅周辺地区と小絹駅周辺地区は「交流拠点」として位置づけ、自然環境と都市環境の調和を基本とした計画的なまちづくりを進めています。計画的なインフラ整備、業務地区への企業誘致、さらに居住安定化を図っています。

また、谷井田地区ならびに伊奈東地区を「地域拠点」として位置づけ、地域の実情に合わせた良好な住環境の整備を促進し、拠点相互の連携により市全体の活力向上につながるまちづくりを進めていきます。

私は、週末にみらい平駅周辺まで散歩に行くんですよ。すると、駅前に住んでいる方から「小学校に通う子どもたちから『おはようございます』と元気よくあいさつをされ、ここの子どもたちは、いいお子さんが多いですね。」と褒められたことがあるんです。ですから、新しい住民の方、前から住んでいる住民の方とか関係なく、市民交流のある新しいまちづくりができるのではないかと、希望をもっています。

荒井 それは、うれしいですね。私も同じ市民として誇りに感じます。

環境問題への取り組みはひとりひとりが身近なことから

吉葉 11月の市広報紙で温室効果ガス削減のための市の取り組みが掲載されていましたが、具体的に市では、どのようなことをしているのか、気になっているのですが。

市長 市では、環境について2つの計画を策定しました。一つは市全体の環境に関する取り組みを定めた「環境基本計画」と、もう一つは事業所としての市が取り組むことを定めた「地球温暖化防止計画」です。11月号市

広報紙で報告させていただいたのは、事業所として市が取り組んだ成果です。市の具体的取り組みとして、節電や控えめな冷暖房温度の設定、ノーマイカーデーの実施などです。

さらに来年度には、夏の暑さに対処するため、ツル性の植物を庁舎のベランダなど窓際に植えて、カーテンのように植物を成長させることで日光をさえぎり、室温の上昇を抑える効果が期待されるグリーンカーテンを



あらい としのぶ
荒井 逸伸さん（川崎）学生

「心と心のふれあいに満ちたまち」
そんなつくばみらいが好きです。